

登山研修 Vol.34 の発行について

スポーツクライミング競技力向上施策や和田城志のアルピニズム論考等を掲載

日本スポーツ振興センター（JSC: JAPAN SPORT COUNCIL）が管理・運営する国立登山研修所（富山県立山町）は、ジャーナル『登山研修』の第34号を発行しました。

『登山研修』は登山に関する最新の知見や技術等に関する論文や報告、そしてその年の卓越した登山記録等をまとめ、昭和60年より毎年発行しています。執筆に当たっては登山研修所講師、第一線で活躍する登山家、登山に関する研究者などに参加いただき、専門的な内容で構成し、他の山岳誌とは一線を画したものとなっています。

国立登山研修所のウェブサイト上でも最新号に加えて第一号からすべてのバックナンバーを公開しております。

最新号 <https://www.jpnsport.go.jp/tozanken/tabid/187/Default.aspx>

バックナンバー <https://www.jpnsport.go.jp/tozanken/tabid/83/Default.aspx>

登山研修 Vol.34 は登山に関する調査研究として登山とトレーニングをテーマに掲げた特集を組み、9本の論考を掲載しています。特にオリンピックの正式種目として採用されたスポーツクライミングの競技力向上のためのサポート体制や栄養指導のあり方について（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会関係者から寄せられた論考も掲載されています。

また、厳冬の剣岳とヒマラヤで活躍した登山家であり『剣沢幻視行 山恋いの記』（2014、中日新聞東京本社）の著者でもある和田城志氏の特別論考「アルピニズム -日本における変遷と今-」も見どころとなっています。

<登山研修 Vol. 34 概要>

発行元	独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所
発行月	2019年3月
構成	1. 登山技術に関する調査研究 特集-登山とトレーニング- 2. 登山界の現状と課題 3. 海外登山記録 4. その他
閲覧 (バックナンバー)	https://www.jpnsport.go.jp/tozanken/tabid/187/Default.aspx https://www.jpnsport.go.jp/tozanken/tabid/83/Default.aspx